

庄内町立小中学校再編整備検討委員会

第3回 会議録

令和6年12月17日

庄内町教育委員会

庄内町立小中学校再編整備検討委員会 第3回 会議録（概要）

- 1 会議日程 令和6年12月17日（火）
 開 会 午後6時30分
 閉 会 午後8時00分
 2 会議場所 庄内町役場B棟2F 会議室1.2
 3 出席者（敬称略）

【会長、委員及び教育委員（オブザーバー参加）】 検討委員 13名出席（17名中）

佐藤 真哉	小野寺貴史	長南 健人	松田 透	加藤 園子
佐藤 義徳	佐藤 一典	本間 幸浩	佐藤 彰	水尾 良孝
富樫 豊一	菅澤 保子	齋藤 直英	佐藤美紗子	
（教育委員）	梅木 均	太田ひろみ	齊藤 雅子	飯淵 義晃

【事務局】9名全員出席

開 会（進行）	（午後6時30分）
会長挨拶 （佐藤教育長）	お集まりいただきありがとうございます。また2回目のアンケートも提出いただき心より感謝申し上げます。 ある住宅メーカーが実施した「住み続けたい街ランキング2024」で庄内町は昨年より順位を4つあげ山形県では第4位という結果でした。町村では第1位となりました。さて、10/25に総合教育会議が開催され、富樫町長と教育委員4名の皆様と私を含めた6名で「小中学校整備」について協議を実施しました。話し合われた内容については、事前に配布しています議事録のとおりです。総合教育会議では、検討委員会でのアンケート結果と少々異なる意見もありましたので、本日は教育委員の皆様も含め、検討委員の皆様から最終的な意見を直接お聞きし、質問や意見交換ができるとても大切な時間だと考えております。各々の立場から忌憚のない意見をお聞かせください。結びに、再編整備計画決定後も、子どもたちが安全に学ぶことができ、保護者が安心して学校と協力しながら教育を任せ、将来庄内町が発展していくことを祈念して、挨拶とさせていただきます。
進行	3 報告に入ります。座長については、会長よりお願いします。
会長（教育長）	3 報告（1）第2回検討委員会会議録及び第2回アンケート結果について事務局より説明をお願いします。
池田教育総務係長	（口頭にて説明）
会長（教育長）	ご質問等ある方はお願いします。 （質問等なし） それでは（2）議会全員協議会報告について事務局より説明をお願いします。
菅原教育課課長補佐	（口頭にて説明）
会長（教育長）	ご質問等ある方はお願いします。 （質問等なし） それでは（3）第1回総合教育会議について事務局より説明をお願いします。
池田教育総務係長	（口頭にて説明）
会長（教育長）	ご質問等ある方はお願いします。 （質問等なし） それでは、本検討委員会にてオブザーバー参加している教育委員の皆様から小中学校再編整備に関し、発言したい旨の要望がありましたので、これを許

	可します。梅木委員から順に、再編整備に関するご意見について発言をお願いします。
梅木教育委員	審議会を経て、検討委員会では適正規模・適正配置について委員の皆様より議論いただいて、小学校は1校、場所は響ホールという意見が多かったです。私からは、言うことはございません。第2回アンケートまでの皆さんの意見を拝見すると、小学校の場所に限らず、幼稚園や学童の運営についても考えてほしい、今後の校舎や施設の検討、自然の中での学び、子どもたちの通学の安全、歩道が無いなどの議論を踏まえて、詰めていかなければならないと思っています。自然の豊かな中で子どもたちを育てたいという話を聞いて感じたことですが、それぞれのまちづくりセンターの皆さんが意欲的にいろんなイベント、体験学習を展開していると計画訪問の中で聞いております。小学校が1校になっても、まちづくりセンターでの活動によって、他地区の文化や特色ある催し物を教育の中で体験できるのではと感じたところです。一番申し上げたいのは、「学校づくりはまちづくり」と重なるということです。統合する中でいろいろな課題が出てくると思います。行政でも、最重要課題として再編整備を考えてほしいと思います。給食費無償化については、自治体の格差問題が出てきます。そういったところも総合教育会議で発言したところです。
太田教育委員	小学校がどこになろうとも、大事なのは子供・保護者・町民がこの学校でよかったと心から思える学校にすることが重要です。学校の中でどんな教育をするか、ソフト面。学校をどこに作ろうとも通学距離・時間の長い子供は出てくる。負担にならない工夫、配慮をお願いしたい。梅木委員から「学校づくりはまちづくり」とあったが、その通りだと思う。庄内町をどのような町にしていきたいかが、学校づくりの大きなポイントになると思います。
齊藤教育委員	子どもたちが安全・安心して通える魅力ある学校にしていって欲しいと思います。用地買収などで時間はかかるかと思いますが、現在の小学校は老朽化しておりますので、なるべく早く新しい学校に通えることを願います。
飯淵教育委員	まちづくりの視点からすると、行政の一極化はふさわしくないと考えます。余目と立川の地域格差があるという話がありましたが、オール庄内町として子どもたちを育てると考えると、小学校は立川、中学校は余目とすれば両地域の良さを学べると思います。通学方法としては、スクールバスだけではなくJRの利用も考えられます。バスに比べて費用面で抑えることができます。子どもたちが利用することによって、陸羽西線の存続にも繋がるかもしれません。大人の利便性ではなく、子どもの利便性を一番に考えてほしいと思います。
会長（教育長）	教育委員の皆様どうもありがとうございました。この後実施しますグループトークで検討委員の皆様と意見交換していただければと思います。4 協議 (1) 小中学校再編整備について に移ります。本日の進め方について、事務局より説明をお願いします。
池田教育総務係長 長谷部学校教育係長	(資料に基づいて説明)
会長（教育長）	現在の説明について、ご質問等ございますか？
太田教育委員	小学校の開校予定が令和14年度とありましたが、立川小中学校敷地の場合はもう少し早く開校できるのではないですか？
菅原課長補佐	立川中学校敷地の場合でも、一部増築が必要になってくると想定されます。そのため、現時点では具体的な時期まではわかりかねます。

委員	以前、響ホール北側に建設する場合は、手続きに時間がかかるとお聞きした記憶があります。令和8年度に事業が終了してから8年経過しないと小学校建設が進められないのであれば、開校は令和16年以降になるのでしょうか？
菅原課長補佐	補助事業の計画から、新小学校敷地を除外する手続きが必要になりますが、スケジュール的には、令和14年度の開校は可能だと考えています。
(4グループに分かれてグループトーク) ※各グループの会議録は以下のとおり	
会長(教育長)	全体を通してご質問等ございますか？ (質問等なし) 3回に渡り、忌憚のない意見またアンケートへの協力本当にありがとうございました。住民のそれぞれの立場を代表する皆様からのご意見を受けまして、実施計画案を策定していきます。誠にありがとうございました。 進行を事務局へお返しします。
その他(進行)	・第3回アンケートについて12/19(木)まで極力ウェブにて入力をお願いします。
閉会	(午後8時)

グループトーク記録	
<p>トークテーマ①「新中学校統合案について」</p> <p>新中学校校舎は、「余目中学校を改修して使用」します。</p> <p>「令和11年4月」を目途に、「町内2つの中学校」(立川中、余目中)を統合し、新中学校を開校します。</p>	
【Aグループ】	
委員	賛成。これまでの意見と同じです。
委員	賛成。特に問題ないと思います。
委員	賛成。これについては特に問題ありません。
梅木教育委員	賛成。中学校は1つで部活動も盛んになると良いと思います。
【Bグループ】	
委員	統合により生徒数が多くなるので、改修工事を行って利用できればと思っています。
委員	一緒になった時の人数では立川中学校を利用することは難しい。中学生の体力的を考えれば、立川に行っても良いのかなと思っていた。部活動も一緒にできれば良いと思っている。現在も親の負担が大きいと聞いているので、解消してあげたいと考えます。
委員	順調にいけば、案通りに開校できると思います。ハードはいいがソフト面が問題だと思います。統合する前に立川と余目2校が交流できるようにしてほしいです。生徒がスムーズに生活できるように。部活動の送迎が心配です。保護者の送迎、特に夜が大変だと思います。休日は部活動の地域移行もあるので、全部余目地域だけでなく、立川地域でも活動できるようにしてほしいです。
太田教育委員	立川地域の生徒の人数が少ないので、好きな部活に入れにくい。早く一緒になってほしいです。部活動について保護者の負担軽減を図って欲しい。学校の運用とはなるが、考えていけたらいいなと思います。
【Cグループ】	
委員	開校までのスケジュールはタイトだと思います。実施計画を立てて、タイムリーにやっていかなければならない事業です。2つの中学校にそれぞれ伝統があるが、これからの学習環境を考えれば、余目中学校を快適な環境に整備し

	て活用していくのが適当だと思います。
委員	中学生は体力的に問題ないので、この方針で進めていって良いと思います。ただ、町民から不安な点についての意見をもらうことは必要だと思う。統合前に部活動の交流なども進めていった方がすんなり進むと思います。
委員	中学校については、案どおりで良いと思います。
齊藤教育委員	中学校については、案どおりで良いと思います。今から2つの学校の交流を進めていってほしいと思う。立川中の生徒や立川地域の人の気持ちをくんでいくことが一番大事だと思います。安心して余目中学校に通えるような土台作りに気を付けていかなければならない。
【Dグループ】	
委員	今回の改修で何十年長寿命化可能か、建築基準を考えたときに心配ではありますが、子どもたちは新しい学校のほうが嬉しいとは思いますが。
委員	賛成。
委員	賛成。
委員	現在 2 つの中学校があるが、両中学校とも生徒数が年々減少しています。立川中は各学年1クラスです。教員不足により、部活動も子どもたちが希望するものがないと聞いています。子どもたちに思い通りの活動をさせるためにも1校に賛成します。
飯淵教育委員	中学校については1校で良いと思います。長寿命化が心配との声がありましたが、ニュースでコンクリートを補強する技術があることを知りました。今後そういったものが普及すると嬉しいと思います。
トークテーマ②「新小学校について」 令和14年を目途に、「響ホール北側」が「立川小中学校敷地」に5校統合して開校する。	
【Aグループ】	
委員	「響ホール北側」が良いと思います。浸水の可能性があるのであれば、すぐに引き取りの連絡が入ると思う。ハザードマップを見て氾濫した場合、余目から立川へ引き取りに行くのは、危ないと感じました。安全が何よりも大事ではないかと思えます。
委員	安全のことを考えると、「響ホール北側」の方が良いのかもしれないが、個人としては、立川方面が良い。通学時間、自然豊か、のびのびとした環境で学習できる。スクールバスの問題があり、1億6千万円の差があるが、私としては立川が良いと思います。
委員	「響ホール北側」だったが、正直言うと、揺れています。立川の人からすると、立川が良いと言いたくなると思う。自分も立川に住んでいるとしたら、立川と言うだろう。検討委員が余目地域の人が多いので、その意見が多くなるのは仕方ないと思う。安全面から考えると、響ホールかなと思う。まだ、考えが固まっていません。
梅木教育委員	余目と立川どのように調整していくのか。「響ホール北側」は、図書館、響ホールなどへアクセスしやすく教育環境が充実することは確かだと思う。保護者にとっては、どこに勤めているかによっても、意見が変わってくるのではないかと思う。
委員	立川地域に自然があることは良いと思います。それをどのように子どもたちに感じさせていくかが大切です。スクールバスで立川地域に行き学習することは可能だと思います。
委員	中心部に学校がないと町は栄えていかないという考えも共感できます。余目

	地域に学校を建設して、立川地域に行き、課外学習をすることもできます。そして、徒歩通学をすることによって体力が高まるということもわかる。みなさんの意見を聞いて、どちらを選択したら良いかととても悩みます。
委員	今更ですが、中学生の意見を聞くことも良いかもしれない。将来を見据えてリアルな意見が出るのではないかと感じます。これからの庄内町を創っていく子どもたちに聞くということも大切ではないかと思う。勝手な想像だが、地元に戻ってきたいという子が多く、出ていきたいという子は少ないのではないか。だから、自分のこととして考えられるのではないのでしょうか。
梅木教育委員	親になって戻ってきたことを考えられるかもしれない。中学生に聞くのも良いのかもしれないです。
【Bグループ】	
委員	第2回検討委員会の時も話しましたが、「響ホール北側」が良いと思っています。中学生の姿を見て、小学生が中学生に憧れを抱き、中学校に進ませたいと思います。消防署なども近くにあり、働く大人の姿を見ながら過ごすことも刺激になるのではと思います。
委員	「響ホール北側」が良いと思います。立川小中学校が無くなった場合、こども園からふるがなくなる不安もありますが、町全体で考えると「響ホール北側」に学びの拠点を置くことも良いと思います。小学生が幼稚園児や中学生とも交流できます。町民の皆さんが納得する場所が大切です。
委員	立川の子どもたちには、小中混乗のバスで中学生の立派になった姿を見てもらいたいです。中学校の壮行式、体育祭も小学生に見てもらいたいです。立川地域に小学校となると、学校行事も移動がスクールバスになります。徒歩で移動できれば良いです。中学校に近いと小中の交流事業もし易い。中学校の教員が小学校の授業を行うこともできると思います。よって「響ホール北側」が良いと思います。
太田教育委員	自分も最終的には「響ホール北側」になるだろうと思いますが、少数意見も聞いてほしいです。私は少数意見も伝えたいと思っています。余目しか知らなくて、義務教育を9年間終わらせるのではなく、庄内町全部を知ってほしいです。通学時間の問題については、教育委員会でも検討しているようで、大変ありがたいのですが、実際いろいろな問題が出てくると思いますので配慮願います。
【Cグループ】	
委員	最初のアンケートで総合的に評価したときに安全性、通学の環境、用地取得や整備、コストなどを比較したときに、より候補地としては「響ホール北側」がよいと考えました。断層帯の話も先ほどありました。それらのリスクを考えた場合、断層から遠いところを選択した方がよい。最上川の決壊による水害リスクも考えた場合、市街地にある「響ホール北側」がよいと思う。あるメーカーの調査でランキングがアップしたという話がありました。町民の暮らしやすさが、総合的に評価されたからだと考えています。小学校も町のランドデザイン全体の中で考えていくことが良いと思います。
委員	先のことを考えると、一つになっていくと思います。最初は違和感がありますが、子どもはそうでもないと思います。交流の場をたくさん設けることが必要です。また、心配な点などが出てくるのが想定されます。それらを聞いていくことは必要だと思います。
委員	小中連携ができる。スクールバスの相互利用ができるなどのメリットがあります。避難所としての活用という話題もありました。今の学校をどうするかは

	決まっていますが、町場に小学校がないと避難所がなくなる。立川も教育環境としては自然などとても良いと思いますが、バスの運転手も減っていると聞きます。現実的には「響ホール北側」が良いと思います。
齊藤教育委員	個人的な思いとしては、立川地域に学校があるといいと考えています。立川地域の方が、子どもたちを育てていこうという雰囲気があります。自然も豊かです。歩いて通ってもいろいろな問題があり、いっそのことバスでという保護者もいると思います。ただし、バスの台数などいろいろなことがあるので、現実的には「響ホール北側」を選ぶ方が良いのかなと思います。理想的に言うと、立川地域は魅力的だと今でも考えています。
【Dグループ】	
委員	「響ホール北側」が良いと思います。意見を聞いていて“自然豊かな環境で”子育ては良いと考えますが、現状は危険を回避するのが先です。自分たちが子どもを考えると、野山を駆け巡りましたが、今はその時間が難しい。駄目だよ、という制約が、安全面という強さから教育現場から感じます。そこは先生方が線引きしてきた結果だと思います。自然豊かなところでの教育も大事ではありますが、家庭での時間や校外学習に使う方が良いのではないのでしょうか。教育の部分で「自然豊か」は、少し離しても良いかなと考えます。
委員	「響ホール北側」が良いと思います。「立川小中学校敷地」では、断層に近いこともあります。最上川が決壊したら立川小中まで浸水すると考えると、響ホール北側よりは危険度が高いと考えます。もう一つは、余目地域の市街地に若い人が新しい家を建てています。立川地域に小学校を建設しても、新しい家は建てないと思います。公共的なもの、コンビニがあるとか、便利なところに家を建てると思うので。選ばれる庄内町にするには、小中連携ができる「響ホール北側」に建設し、その付近にも土地があるので、若い人たちから家を建ててもらって学校に通ってもらいたいと考えます。
委員	「立川小中学校敷地」が良いと思います。「響ホール北側」であれば大人は町が近くて助かると思いますが、立谷沢で生活していて、中学校もスクールバスで30分かかっていました。中学校でも辛かったです。小学校低学年の子が長時間通学すると考えるとすごく大変だと思います。自然災害は考えなければいけません、学校の2、3階を使うとか工夫すれば何とかできるのではと思います。
委員	他の検討委員や教育委員の方の意見を聞いて、自然豊かな立川地域、個人的にも良いことだと思いますが、余目地域の学校に勤務していて立川地域の子どもたちが、100%自然に溶け込んだ教育ができているとしたら、余目地域の子どもたちも80%くらいの教育活動はできていると自負しています。オール庄内町で考えていくという考えには、確かにその通りと思います。子どもの数からしたら余目が多いが、庄内町で生活している子どもたちを考えたときに、中学校は余目、小学校は立川というのも意義あることかなとは考えました。しかし、「響ホール北側」は中学校が近い、公的機関、役場見学徒歩で行ける、消防署、商業施設、歩いていけるという点もプラスかと思います。
飯判教育委員	小中学校で9年間同じところに通うのってどうなのかなと思います。数の論理でいうと余目だと思いますが、地域の文化を風化させないとすると、中学校は余目、小学校は立川もいいと思います。まちづくりという観点からも、庄内町を知って、育ってほしいと思います。